

# 児童発達支援 自己評価表 (事業所における自己評価及び事業所全体による自己評価)

事業所名 : 多機能型事業所 ミルキーウェイ  
 サービス形態 : 児童発達支援  
 評価実施日 : 平成30年12月1日～平成31年3月15日  
 (事業所における自己評価及び事業所全体による自己評価)

チェック項目		はい	どちらとも いえない	いいえ	工夫している点、課題や改善すべき点など
環境・ 体制整備	① 利用定員が指導訓練室等スペースとの関係で適切であるか	7	4		法令に厳守したスペースを確保しております
	② 職員の配置数は適切であるか	7	3	1	職員は配置より厚く配置しておりますが送迎業務等で不在にする際の残る職員の確保をきちんとするように努力しております
	③ 事業所の設備等は、バリアフリー化の配慮が適切になされているか	4	7		基本的にはバリアフリーの配慮をしておりますが、一部建築物の構造上の問題があり、上り下りを必要とします
業務改善	④ 業務改善を進めるためのPDCAサイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか	6	4	1	PDCAサイクルの実施が不十分であったため、業務改善として多くの職員を会議に参加できるようにしています
	⑤ 保護者向け評価表を活用する等によりアンケート調査を実施して保護者の意向等を把握し、業務改善に繋がっているか	6	4	1	保護者へアンケート調査を実施し、業務改善に繋がっております
	⑥ この自己評価の結果を、事業所の会報やホームページ等で公開しているか	3	7	1	自己評価結果を当社のホームページで公開しております
	⑦ 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善に繋がっているか	6	4	1	第三者による外部評価を実施し、業務改善に繋がっています
	⑧ 職員の資質の向上を行うために、研修の機会を確保しているか	10	1		定期的に研修を実施しており、資質の向上に努めています
⑨ アセスメントを適切に行い、子どもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか	6	5		アセスメントを実施した上で計画を作成しています。必要に応じて利用者さんを取り巻く環境を把握するために学校やご自宅への訪問を実施しています	

## 適切な支援の提供

⑩	子どもの適応行動の状況を図る為に、標準化されたアセスメントツールを使用しているか	5	5	1	標準化されたアセスメントツールを使用しています
⑪	児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「発達支援」、「家族支援」、「地域支援」で示す支援内容から子どもの支援に必要な項目が適切に選択され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか	7	4		児童発達支援ガイドラインに沿って、支援に必要な項目を選択し、支援内容を設定しています
⑫	児童発達支援経過に沿った支援が行われているか	7	3	1	定期的にあセスメントを行い、成長に合わせた支援を行うように努めています
⑬	活動プログラムの立案をチームで行っているか	5	5	1	活動状況を共有するために個別支援会議を職員間で行い、活動プログラムを立案しています
⑭	活動プログラムが固定化されないよう工夫しているか	6	5		日々の情報共有を行うときに、状況に応じて変更しています
⑮	子どもの状況に応じて、個別活動や集団活動を適且組合わせて放課後等デイサービス計画を作成しているか	7	3	1	利用者さんの状況に応じて、個別活動や集団活動を組み合わせて実施しています
⑯	支援開始前には職員間で必ず打ち合わせをし、その日行われる支援の内容や役割分担について確認しているか	6	5		支援前に職員間で打合せをする時間を設けているが、実施できない日もあります
⑰	支援終了後に職員間で必ず打合せをし、日々行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか	9	2		情報共有として、支援伝達ノートを各利用者さんごとに作成し伝達しています
⑱	日々の支援に関して正しく記録をとる事を徹底し、支援の検証・改善につなげているか	8	3		支援の記録を残すことは徹底していますが、日々の支援の検証に十分時間を費やせていないので、今後は支援の検証する時間を設定し改善につなげていきます
⑲	定期的モニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断しているか	9	2		定期的モニタリングを行い、支援会議を実施し、計画の見直しを行っている
⑳	障害者相談支援事業所のサービス担当者会議に子どもの状況に精通した最もふさわしい者が参画しているか	7	3		担当者会議には、児童発達支援管理責任者および支援スタッフが参加しています

⑳	母子保健や子ども・子育て支援等の関係者、関係機関と連携した支援を行っているか	10	1		学校や保育所、地域の専門機関や医療機関との情報共有や相談、報告を行い、適切な支援を行えるよう努めています
㉑	医療ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子ども等の在宅支援の為に地域の保健、医療、障害福祉、保育、教育機関の関係機関と連携した支援を行っているか	10	1		学校や保育所、地域の専門機関や医療機関との情報共有や相談、報告を行い、適切な支援を行えるよう努めています
㉒	医療的ケアが必要な子どもや重症心身障害のある子どもを受け入れる場合は、子どもの主治医等と連絡体制を整えているか	9	2		主治医等との連絡はとっていますが、体制的には不十分であるので、今後改善していきます
㉓	保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	11			就学前に利用していた関連施設等との間で情報共有と相互理解に努めています
㉔	小学校や特別支援学校（小学部）との間で移行に向けた支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか	10	1		移行支援を行っています
㉕	他の児童発達支援センターや児童発達支援事業所、発達障害者支援センター等の専門機関と連携し助言や研修を受けているか	7	4		児童発達支援センター等の専門機関と連携し、助言や研修を受けています
㉖	保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、障害の無い子どもと活動する機会があるか	5	4	2	現在実施していませんので、今後検討していきます
㉗	（自立支援）協議会子ども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか	5	4	2	協議会等へ積極的に参加しています
㉘	日頃から子供の状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか	10	1		個別支援計画書などを通して、共通理解をもつように心がけたり、日々の送迎時に子どもの状況について伝え合ったりしています
㉙	保護者の対応力の向上を図る観点から、保護者に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）の支援を行っているか	5	5	1	当社で企画した研修などのご案内を行ったり、必要に応じてご家族のご相談を受け、アドバイス等を行っています
㉚	運営規定、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか	9	2		運営規定、支援の内容、利用者負担等について説明を行っています

保護者への説明責任等	③②	児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」のねらい及び支援内容と、これに基づき作成された「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画のどういを得ているか	10	1		児童発達支援ガイドラインに沿って支援計画書を作成し、ご家族に説明を実施し、同意を得ています
	③③	保護者からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、必要な助言と支援を行っているか	7	4		ご家族からの子育ての悩み等に対する相談に応じ、必要な助言と支援を行っています
	③④	父母の会の活動を支援したり、保護者会等を開催する等により、保護者同士の連携を支援しているか	8	3		年に1回保護者会を実施していますが、父母の会の活動を支援するなどはありませんので、今後保護者同士の連携を支援していきます
	③⑤	子どもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか	9	2		出来る限り臨機応変に対応させていただいています
	③⑥	定期的に会報等を発行し、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか	9	2		月に1回および必要に応じておたよりを配布しています
	③⑦	個人情報の取扱いに十分注意しているか	10	1		個人情報の取扱いには十分注意しています
	③⑧	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮はしているか	10	1		必要に応じて、適切な情報伝達手段を用いています
	③⑨	事業所の行事に地域住民を招待する等地域に開かれた事業運営を図っているか	10	1		夏祭りを企画し、地域住民等との交流を実施しています
	非常時	④⑩	緊急対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、職員や保護者に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか	10	1	
④⑪		非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出をその他必要な訓練を行っているか	9	2		定期的に避難訓練を行っています
④⑫		事前に、予防接種やてんかん発作等のこどもの状況を確認しているか	8	3		母子手帳、おくすり手帳で確認しています。また、てんかん発作等の対応は主治医の指示を受けています

## 時等の対応

④③	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか	9	2		ご家族へ確認するとともに、必要に応じて医師の指示書をいただいています
④④	ヒヤリハット事例集を作成して事業所内で共有しているか	6	5		ヒヤリハット事例集を作成し、事業所内で共有しています
④⑤	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか	10	1		虐待防止等の研修に参加しています
④①	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了承を得た上で、児童発達支援計画に記載されているか	8	3		身体拘束に関して子どもやご家族へ説明を行い、ご理解を得ています。また、個別支援計画書にも記載しています

自己評価)